

歯を磨けば命が輝く 歯原性菌血症の怖い話



花田 信弘 (はなだ のぶひろ)

福岡県出身 歯学博士

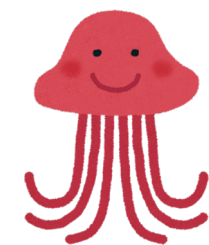
鶴見大学 歯学部 探索歯学講座 主任教授

国立感染症研究所 口腔科学部長を経て現職。

全国各地の大学歯学部の講師を務める。

第4話 口の中のエイリアン

人生を生き抜くためには、子どもの時にいくつかの決まり事を学び、それを大人になっても守る必要があります。沖繩がかつて日本一の長寿国を誇った理由のひとつは、親や先祖の教えを忠実に守ってきたからでしょう。毎日歯を磨く事も100年以上かけて築いた重要な決まり事のひとつです。口の中には細菌というエイリアンが住みついていきます。



このエイリアンは上皮細胞のバリア機能に阻まれて生体へ侵入できません。しかし、喫煙習慣などの理由で上皮が破れやすくなると周期的に菌血症(細菌が血液中に入る現象)を発症します。長期にわたり菌血症が繰り返されると人間は病気になるります。国の健康づくりに必ず「歯の健康」を加えているのは菌血症防止という細菌学的な理由があるからです。

20世紀前半まで日本人の寿命は現在の半分(男性42歳、女性43歳)でした。当時は結核が寿命に大きな影響を与えてきました。特效薬としてストレプトマイシンが発見されたのは1944年のことです。薬剤により結核は退治されましたが、薬剤が効かない細菌もいます。それが口の中のバイオフィルム細菌です。歯の表面で細菌は凝集塊(バイオフィルム)をつくります。バイオフィルムの細菌は普通の細菌より1000倍の密度と500倍の薬剤耐性能力を持ちます。まさに最強のエイリアンです。

エイリアンにより菌血症が繰り返されると人生の途中で死を迎えます。たとえ生き延びても闘病生活による高額医療費で家計が苦しくなります。海外の大学が発表した研究では、若者が3週間歯磨きを中止するだけで、重度の腎臓病患者と同じレベルの細菌毒素が血中に入るそうです。そのため動脈硬化を示す血液検査値も上昇します。歯科衛生士による歯面クリーニングを受けると血液検査値はすべて正常値に戻ります。

首都大学東京の著名な衛生学者は「清潔な家、きれいな歯」を健康の基本に挙げています。沖繩では口腔粘膜の上皮バリアを破壊するたばこの煙を加えて「清潔な家、きれいな歯、家族全員の禁煙」の3つを「新三大沖繩の知恵」と呼びたいと思います。



鶴見大学歯学部探索歯学講座

〒230-8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-3

TEL.045-581-1001

<http://dent.tsurumi-u.ac.jp/>



一般社団法人 口腔除菌協会

東京都港区六本木7-17-10

TEL.0120-59-6480

<http://www.kenko-station.jp>

